

上越市経済懇談会 次第

日時：平成30年8月9日（木）13：30～
場所：上越市役所4階401会議室

1 開 会

2 市長あいさつ

3 意見交換

4 その他

5 閉 会

上越市経済懇談会 出席者

平成30年8月9日開催

(敬称略, 席次順)

団 体		役 職	氏 名
新潟県	上越地域振興局	局 長	大 野 昇
	産業労働観光部	副部長	八 木 威
上越商工会議所		中小企業相談所長	岡 田 政 彦
上越商工会議所小売商業部会		副部会長	大 嶋 喜 久 雄
上越商工会議所機械金属工業部会		部会長	荻 原 潔
上越商工会議所総合工事業部会		部会長	清 水 恵 一
上越市商工会連絡協議会		会 長	蓑 和 章
上越公共職業安定所		所 長	金 子 幸 二
日本政策金融公庫高田支店		支店長	多 田 一 雄
第四銀行		執行役員上越ブロッ ク営業本部長兼高田 営業部長	柴 山 圭 一
上越信用金庫		執行役員 融資部長	林 靖
新潟県信用保証協会 上越支店		支店長	相 澤 一 征

上越市		市 長	村 山 秀 幸
上越市 (事務局)	産業観光部	部 長	市 川 均
	産業振興課	課 長	宮 崎 英 紀

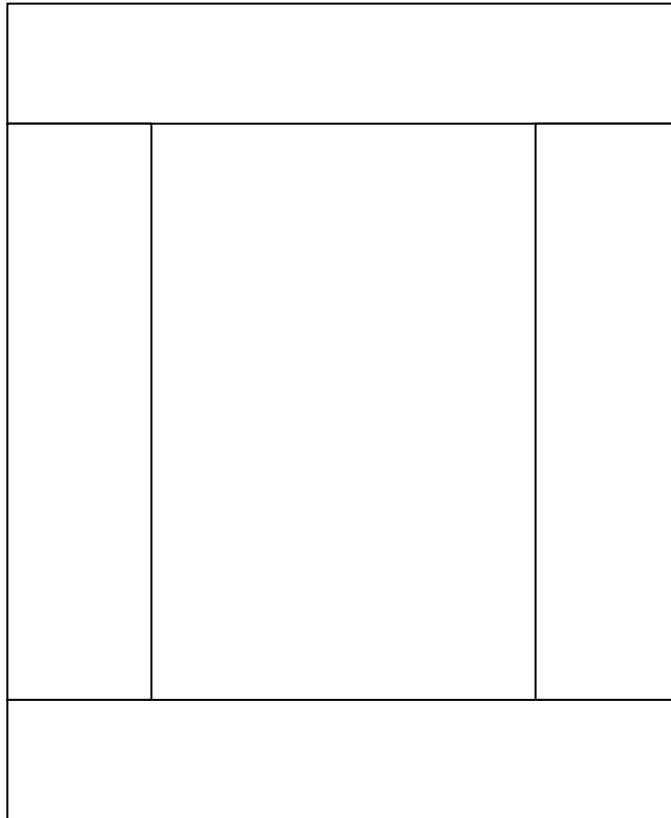
席次

上越商工会議所
機械金属工業部会
荻原 潔

上越商工会議所
総合工事業部会
清水 恵一

上越市商工会
連絡協議会
蓑和 章

上越公共職業安定所
金子 幸二

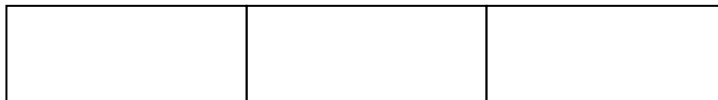


入口

産業観光部長

村山市長

産業振興課長



報道

施設経営管理室長

観光振興課長

産業立地課長

上越ものづくり振興センター所長

産業振興課副課長 (調整担当)

産業振興課副課長

報道

上越市経済懇談会 配付資料一覧

<関係機関からの経済状況報告資料>

- | | |
|-------------|--|
| 資料No. 1 - 1 | 新潟県の経済動向（新潟県 産業労働観光部） |
| 資料No. 1 - 2 | 「小規模事業者の経営実態等に関するアンケート」結果
（新潟県 産業労働観光部） |
| 資料No. 1 - 3 | 表参道に新潟清酒の立ち飲みスペースがOPEN！
（新潟県 産業労働観光部） |
| 資料No. 2 | 会員景況調査結果（上越商工会議所） |
| 資料No. 3 - 1 | 最近の雇用失業情勢（上越公共職業安定所） |
| 資料No. 3 - 2 | 最近の雇用の動き（上越公共職業安定所） |
| 資料No. 4 | 小企業の景況等（日本政策金融公庫） |
| 資料No. 5 | 新潟県企業動向調査 2018 年上期（第四銀行） |
| 資料No. 6 | 中小企業景気動向調査（上越信用金庫） |
| 資料No. 7 | 信用保証の状況と動向について（新潟県信用保証協会） |



新潟県

新潟県の経済動向

平成30年7月10日

県内経済の概況（4月～6月）

県内経済は、持ち直している。

なお、人手不足が県内経済に及ぼす影響に留意する必要がある。

- ・個人消費・物価は、緩やかに持ち直している。
- ・住宅投資は、弱めの動きとなっている。
- ・設備投資は、回復している。
- ・公共投資は、下げ止まっている。
- ・生産は、持ち直している。
- ・雇用は、着実に改善している。
- ・企業は、改善の動きがみられる。

【参考】

○新潟県景気動向指数（平成30年6月29日）

4月の景気動向指数（CI）の一致指数は、103.0となり、前月から2.5ポイント上昇し、3か月連続の上昇となった。

○国内経済の動向（内閣府「月例経済報告」平成30年6月19日）

景気は、緩やかに回復している。

- ・個人消費は、持ち直している。
- ・設備投資は、緩やかに増加している。
- ・輸出は、持ち直している。
- ・生産は、緩やかに増加している。
- ・企業収益は、改善している。企業の業況判断は、改善している。
- ・雇用情勢は、着実に改善している。
- ・消費者物価は、このところ緩やかに上昇している。

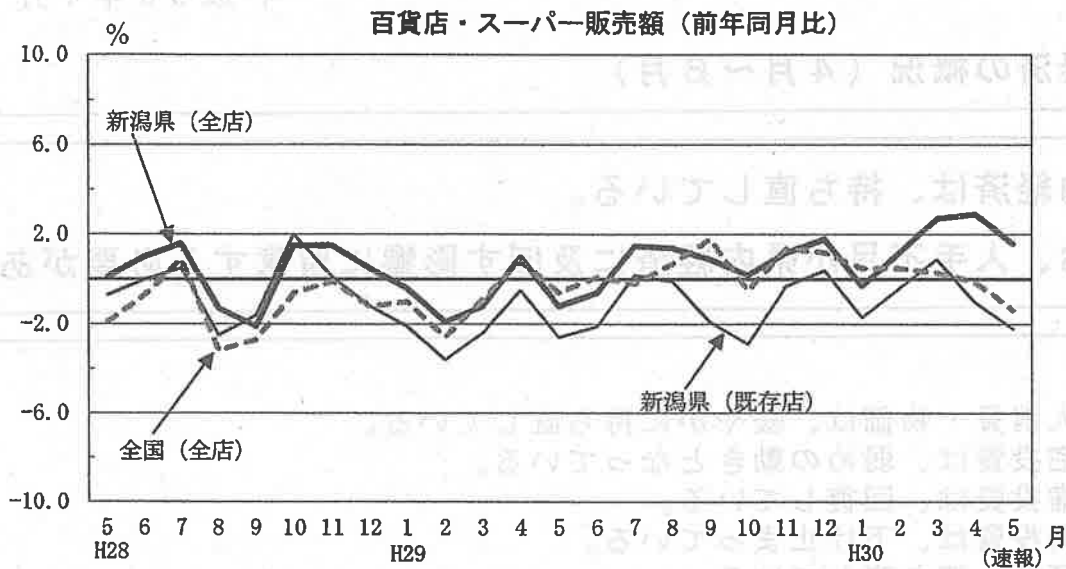
新潟県総務管理部統計課
担当：調査解析班 田村・中澤
電話：025-280-5122
(内線 2447)
ngt010190@pref.niigata.lg.jp

1 個人消費・物価 ～緩やかに持ち直している～

○ 百貨店・スーパー販売額

5月の百貨店・スーパー販売額の速報値は、全店で290億円となり、前年同月比1.6%増加し、4か月連続で前年を上回った。既存店では同2.2%減少し、2か月連続で前年を下回った。

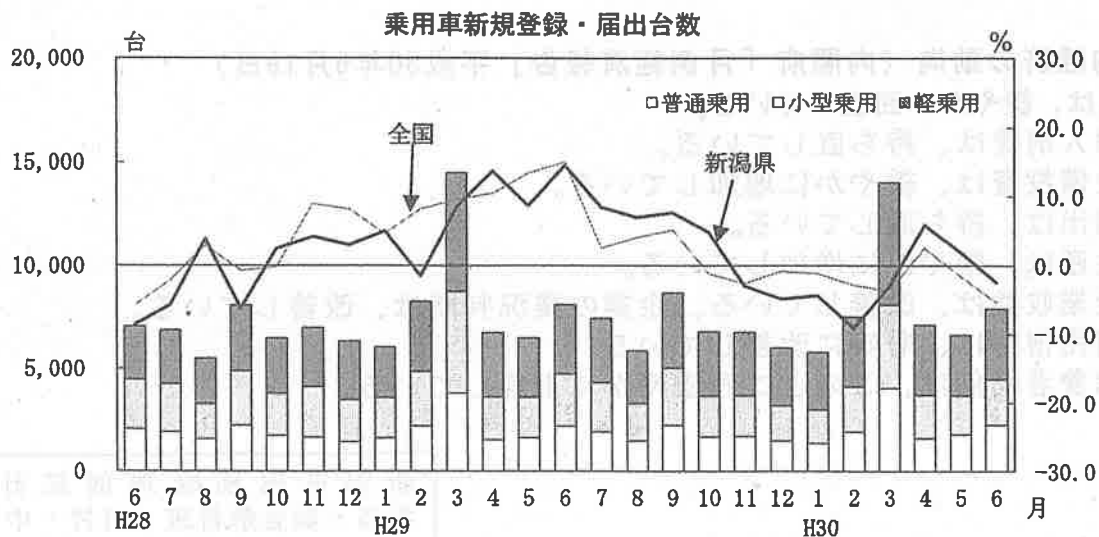
なお、4月の確報値は、全店で283億円となり、前年同月比2.9%増加と前年を上回り、既存店では同1.0%減少と前年を下回った。



○ 乗用車（含む軽）新規登録・届出台数

6月の乗用車新規登録・届出台数は7,909台となり、前年同月比2.4%減少し、3か月ぶりに前年を下回った。

車種別では、小型乗用が前年同月比12.4%減少し、普通乗用が同2.4%、軽乗用が同2.0%それぞれ増加した。



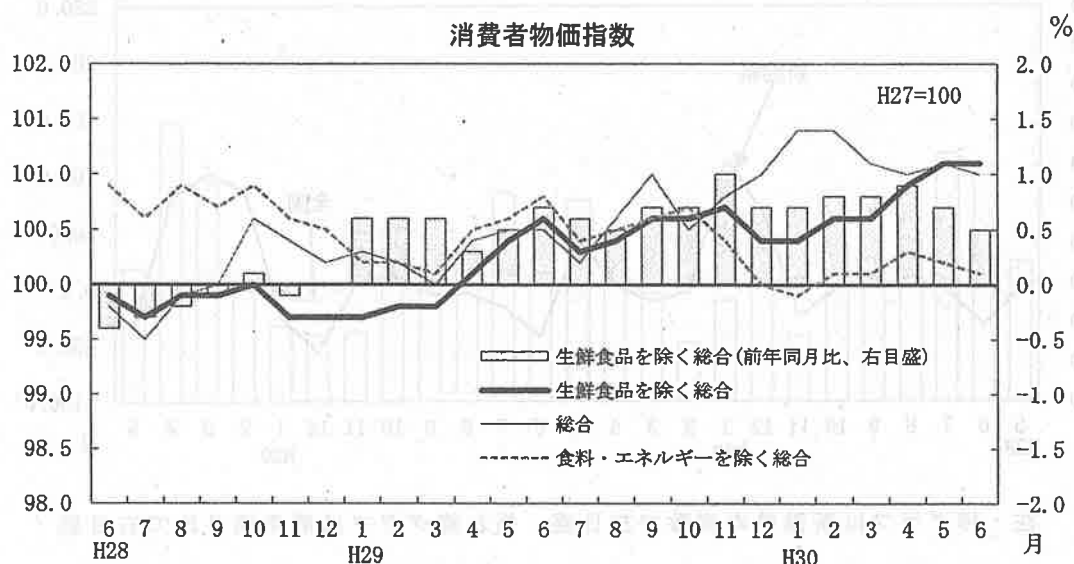
注：棒グラフは新潟県の実数で左目盛、折れ線グラフは前年同月比で右目盛

○ 消費者物価指数

6月の新潟市消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）は101.1となり、前年同月比0.5%上昇し、1年6か月連続で前年を上回った。

費目別では、自動車等関係費、電気代などが前年同月比で上昇し、通信、教養娯楽用品などが下落した。

なお、総合指数は101.0で前年同月比0.5%上昇し、8か月連続で前年を上回った。食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合は100.1で同0.7%下落し、3か月連続で前年を下回った。



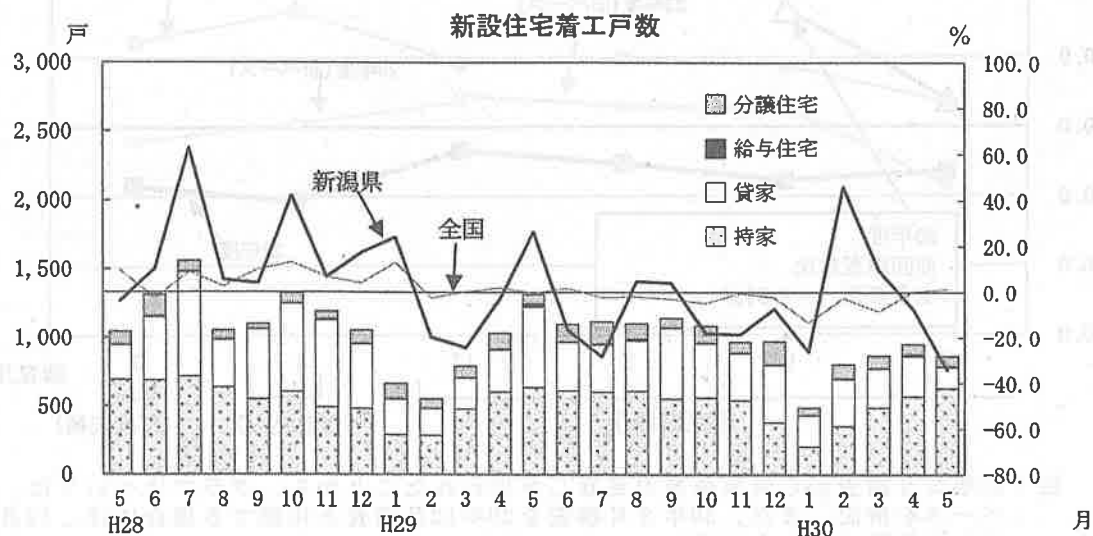
注：折れ線グラフは指数で左目盛、棒グラフは前年同月比で右目盛

2 住宅投資 ～弱めの動きとなっている～

○ 新設住宅着工戸数

5月の新設住宅着工戸数は870戸となり、前年同月比34.1%減少し、2か月連続で前年を下回った。

利用関係別では、持家が前年同月比1.1%、貸家が同73.3%それぞれ減少し、分譲が同14.5%増加した。



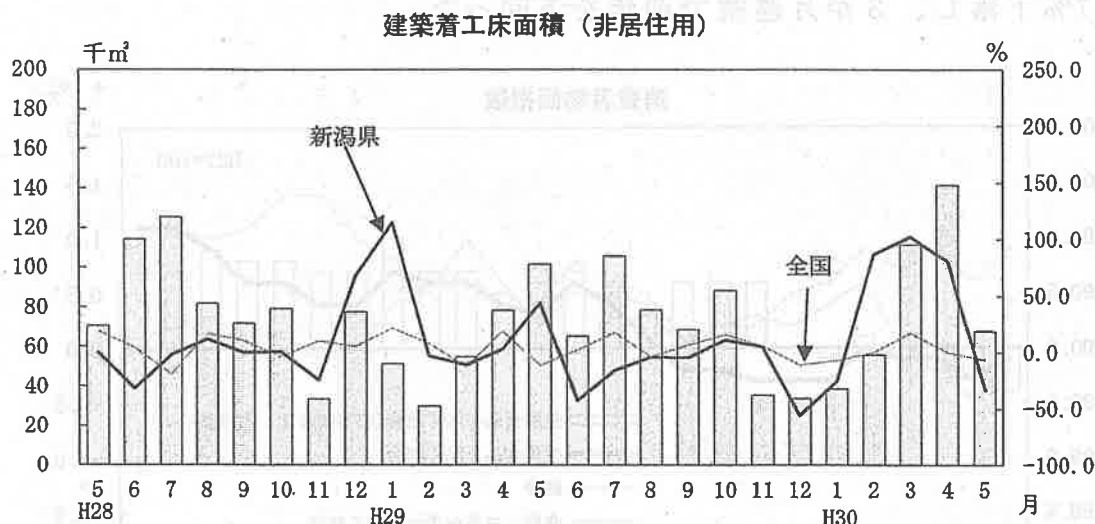
注：棒グラフは新潟県の実数で左目盛、折れ線グラフは前年同月比で右目盛

3 設備投資 ～回復している～

○ 建築着工床面積（非居住用）

5月の建築着工床面積は、67,882㎡となり、前年同月比33.3%減少し、4か月ぶりに前年を下回った。

用途別にみると、卸売業・小売業用、教育・学習支援業用などが前年同月を下回り、製造業用、農林水産業用などが上回った。

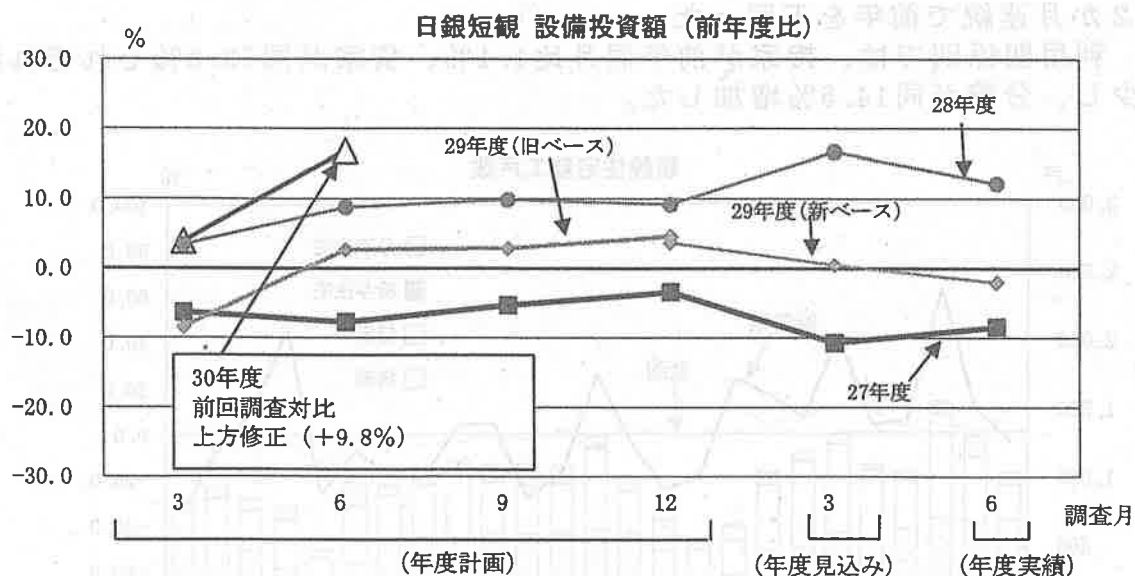


注：棒グラフは新潟県の実数で左目盛、折れ線グラフは前年同月比で右目盛

○ 企業の設備投資額

平成29年度の企業の設備投資額（日銀短観・平成30年6月調査）は、全産業で前年度比2.0%減少となった。製造業が2.6%減少、非製造業が1.4%減少と、ともに前年度を下回る実績であった。

また、30年度計画は、全産業で前年度比16.9%増加の計画となっている。製造業が21.2%増加、非製造業が13.0%増加と、ともに前年度を上回る計画である。前回調査対比では、全産業で上方修正となった。



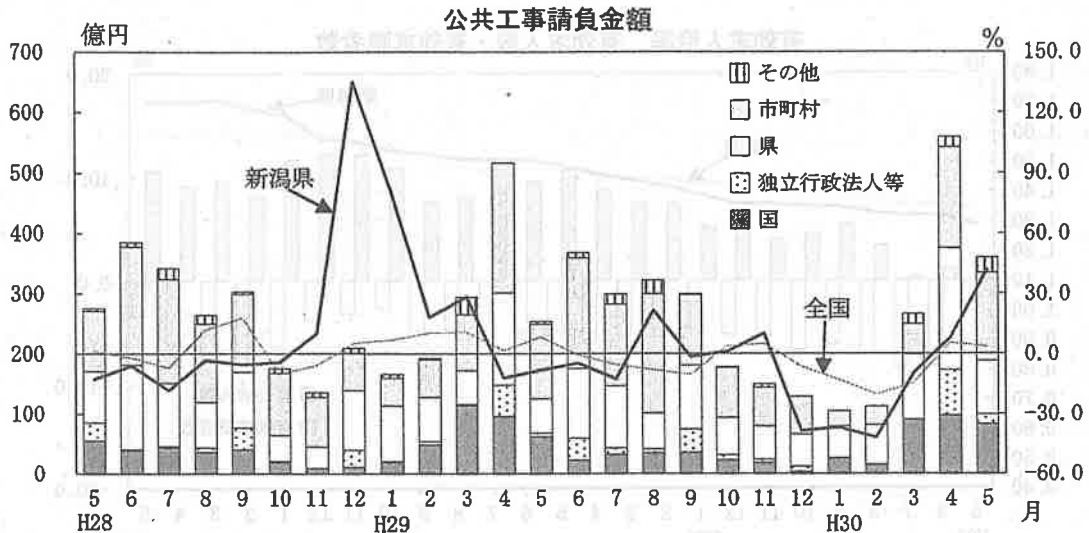
注：30年3月調査から対象企業の見直しが行われたことから、グラフについては、新旧ベースを併記。また、30年3月調査を29年12月調査と比較する場合には、12月調査データは新ベースを使用。

4 公共投資 ～下げ止まっている～

○ 公共工事請負金額

5月の公共工事請負金額は360億円となり、前年同月比41.7%増加し、2か月連続で前年を上回った。

発注者別では、国は前年同月比33.0%、独立行政法人等は同174.2%、県は同57.0%、市町村は同17.2%それぞれ増加した。



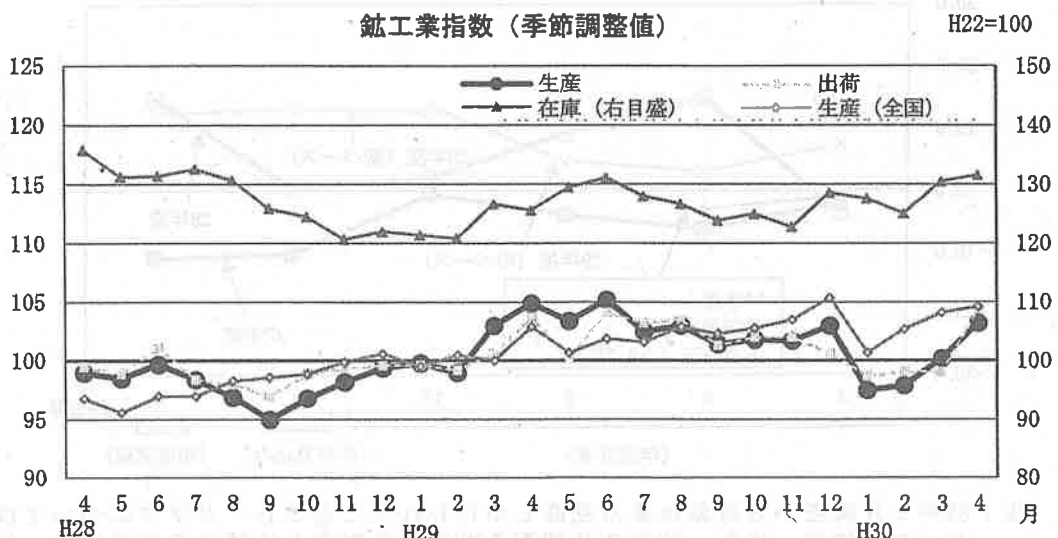
5 生産 ～持ち直している～

○ 鉱工業指数

4月の鉱工業指数（季節調整値）は、生産指数が103.2となり、前月比3.0%上昇し、3か月連続で上昇した。前年同月比（原指数）では1.2%低下と4か月連続で前年を下回った。

業種別にみると、輸送機械工業が前月比16.1%、はん用・生産用・業務用機械工業が同6.5%、その他工業が同19.9%それぞれ増加するなど、16業種中7業種が上昇した。

なお、出荷指数は104.4となり2か月ぶりに上昇し、在庫指数は131.6となり2か月連続で上昇した。

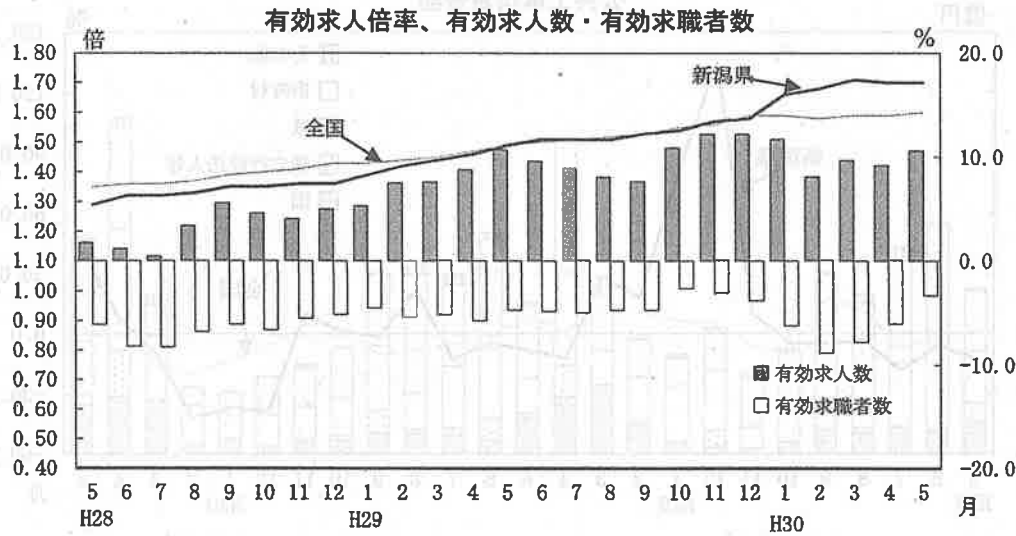


6 雇用 ～着実に改善している～

○ 有効求人倍率

5月の有効求人倍率（パート含む全数・季節調整値）は1.70倍で、前月から横ばいとなった（前月は3年ぶりに低下していた。）

有効求人数は、前年同月比10.6%増と2年3か月連続で増加した。また、有効求職者数は、同3.3%減と8年5か月連続で減少した。



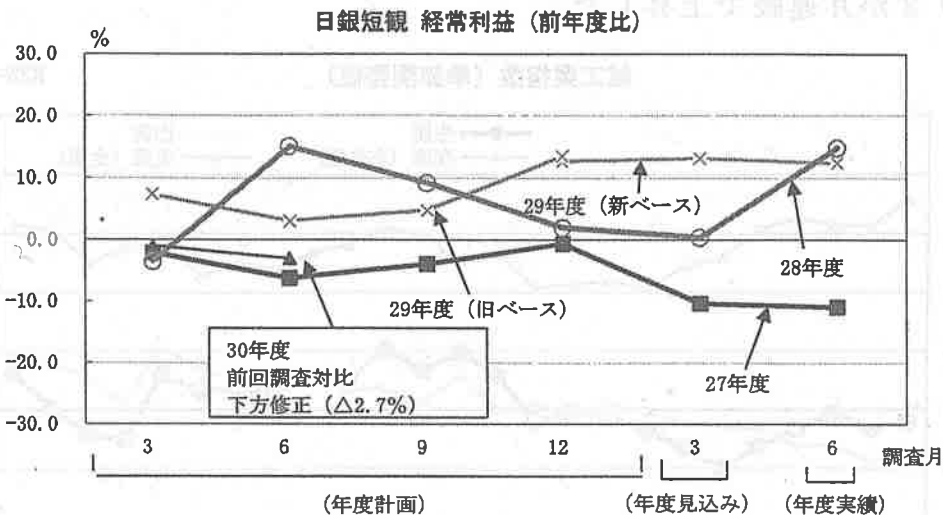
注：折れ線グラフは有効求人倍率で左目盛、棒グラフは前年同月比で右目盛

7 企業 ～改善の動きがみられる～

○ 企業収益

平成29年度の企業の経常利益（日銀短観・平成30年6月調査）は、全産業で前年度比12.4%増益となった。製造業が24.6%増益、非製造業が4.5%増益と、ともに前年度を上回る実績であった。

また、30年度計画は、全産業で前年度比3.0%減益の計画となっている。製造業では2.6%増益と、前年度を上回るものの、非製造業では7.3%減益と、前年度を下回る計画である。前回調査対比では、全産業で下方修正となった。

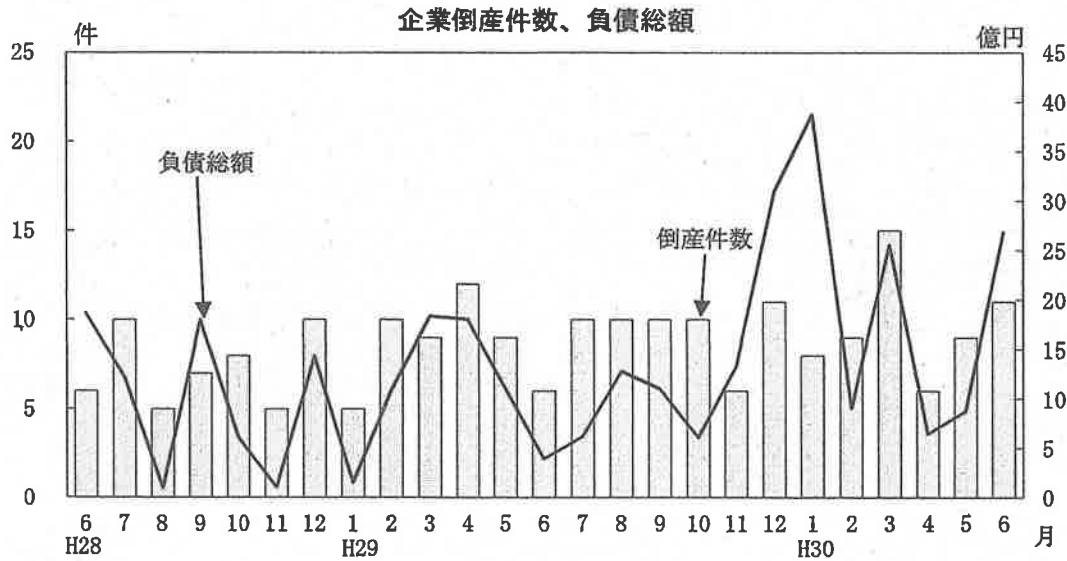


注：30年3月調査から対象企業の見直しが行われたことから、グラフについては、新旧ベースを併記。また、30年3月調査を29年12月調査と比較する場合には、12月調査データは新ベースを使用。

○ 企業倒産

6月の倒産件数（負債額1,000万円以上）は11件となり、前年同月比83.3%増加し、3か月ぶりに前年を上回った。

また、負債総額は27億円で前年同月比583.7%増加し、3か月ぶりに前年を上回った。負債総額10億円以上の大型倒産は1件あった。

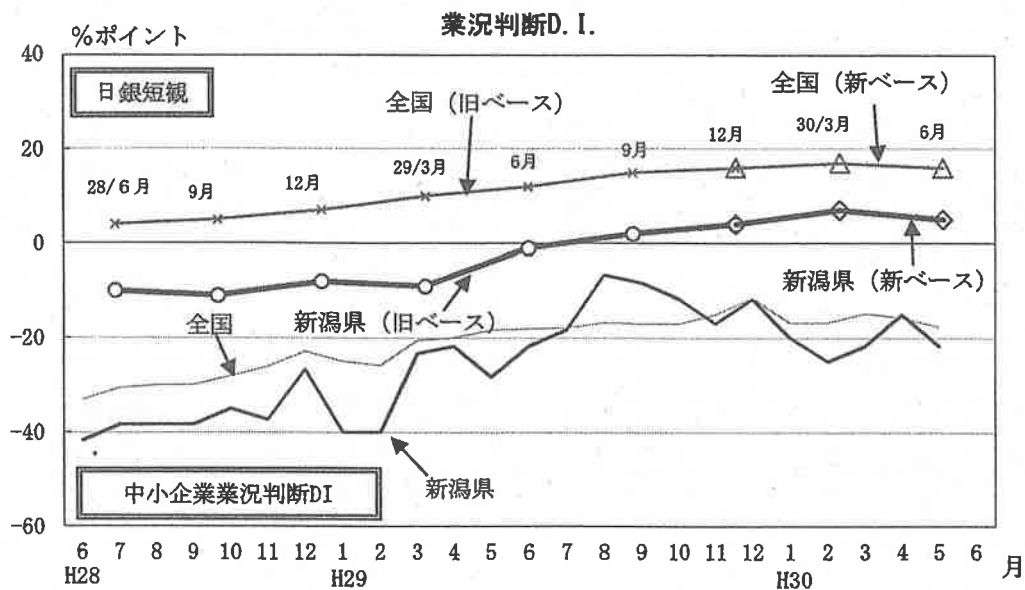


注：棒グラフは倒産件数で左目盛、折れ線グラフは負債総額で右目盛

○ 企業の景況感

企業の景況感については、日銀短観（平成30年6月調査）の業況判断D.I.は、5%ポイントとなり、前回調査から2%ポイント悪化した。

また、5月の中小企業業況判断D.I.は△21.7%ポイントとなり、前月から6.7%ポイント悪化し、3か月ぶりに悪化した。



注：30年3月調査から対象企業の見直しが行われたことから、グラフについては、新旧ベースを併記。また、30年3月調査を29年12月調査と比較する場合には、12月調査データは新ベースを使用。